

<p>1. 前会の会議録の承認</p>	<p>(事務局) 7月定例会の会議録について概要説明 → 承認</p>
<p>2. 教育長報告</p>	<p>(教育長)</p> <p>7月の定例教育委員会から今日までの行事等について報告する。</p> <p>夏休みが残り3分の1程度になったが、特に大きな事故などの事案については報告されていないので、子どもたちが無事に生活できていると思われる。一方、天候が非常に不順であったり、いつ突発的なことが起こったりするかはわからないので不安はあるが、残りの夏休みも無事に過ごし、新学期始まりに元気な姿を見られるといいと思う。</p> <p>7月29日に子供の自立を支える親の会の進路説明会を開催した。主に不登校のお子さんと保護者の方を対象にしており、50名程度参加していただいた。中には親子で参加された家庭もあった。教育委員会から進路の話をさせていただき、終わってからは個別に相談を受けた。年々こういった会に参加する子どもたちが増えており、また、不登校の子どもたちの進路先も広がりつつあると感じている。</p> <p>また、この1週間後には、同じく子供の自立を支える親の会の相談会も開催した。保護者の方が相談する機会を設け、少しでも気持ちがほぐれるようにできればという思いで、これらの取り組みを実施している。</p> <p>同じく29日、正八ちゃんの宵祭りが6年振りに開催された。岩滑と岩滑新田の方たちがお囃子を披露してくれるなど盛大に開催することができた。</p> <p>30日は、新美南吉さんの生誕祭が開催され、この日に向けて練習してきた子どもたちによる『ごんぎつね』の朗読や、元NHKアナウンサーの山根基世さんや松平定知さんらの読み語りに合わせてリュートという三味線のような大きな楽器を有名な奏者の高本一郎さんが演奏するコンサートもあり、非常に盛り上がった。</p> <p>また13日には、新美南吉顕彰会主催で絵本作家の長野ヒデ子さんと娘の長野麻子さんの対談講演会が開催され、全国各地からファンの方がいらっしやっていたようで、約150名の方に参加いただいた。麻子さんから見た母ヒデ子さんのお話や新作絵本『てんごく』の制作エピソードなど話していただいた。</p> <p>16日は、新美南吉記念館事業推進委員会があり、記念館の事業に対してご意見をいただいたり、今後に向けてのご提言をいただいたりした。徐々にコロナ前の状況に戻りつつある中、記念館もこの生誕110年を機に館内をリニューアルしたり、様々なイベントを工夫して開催したりしており、また、南吉ということでテレビのコマーシャルの一部や新聞にもよく取り上げられており、記念館がPR活動は努力していると感じている。一方、もっと地元である半田市の市民が記念館や南吉さんに興味を持つような取り組みができるといいとのご意見や、地元の小学校がもう少し頑張してほしいとのご意見をいただいた。以前は南吉さんの研究をする教員がおり、その教員が岩滑小学校に配属されて、中心になって南吉さんの学習に取り組んでいたが、近頃は南吉さんを題材にして研究する教員が出てきていないので、何とかそういう人を育てていかなければいけないのかなとも思っている。</p> <p>南吉さんの生誕110年に関する事業については残りまだ数か月あり、いろいろなイベントも控えているので、またみなさんと盛り上げていきたい。</p>

	<p>他にも夏休み中に多くの行事があったが、8月1日には少年消防クラブ体験教室として、各学校の少年消防クラブの子どもたちが市内3ヶ所の消防署で放水訓練をしたり、はしご車に乗ったり、ドローンを飛ばしたりと貴重な経験をすることができた。</p>
<p>3. 議題 ■協議事項 1) 令和5年度半田市一般会計補正予算について</p>	<p>(生涯学習課長) 8月30日から開催される半田市議会9月定例会への議案として、教育委員会から補正予算案を上程する。上程前の予算案であるため、情報の取扱いにはご注意ください。それでは教育部が関係する補正予算、生涯学習課の歳出について説明する。 9款・5項・5目「空の科学館、体育館費」中、「施設等改修事業」315万7千円については、科学館屋上にあるドーム開閉装置を修繕するものである。科学館では、ドーム内にある大型望遠鏡を使用して星空を観察するイベントを毎月定期的で開催しており、プラネタリウムと並ぶ基幹事業となっている。ドームは自動で開閉するが、開閉装置の不具合により、開閉が途中で停止してしまう事象がこの4月から何度か発生している。原因は、開閉装置のモーター及びワイヤーロープの老朽化によるもので、早期に取替が必要であることから、補正予算で対応する。</p> <p>(教育長) ただいまの説明について、意見や質問等はあるか。</p> <p>(委員) 異議なし</p> <p>(教育長) では、提案のとおりに進めてください。</p>
<p>■協議事項 2) 乙川中学校改築外構・運動場整備工事契約の締結について</p>	<p>(学校教育課長) 1億5千万円以上の工事の契約締結については議会の議決が必要となるため、半田市議会9月定例会に本案件を上程する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 工事名は、乙川中学校改築外構・運動場整備工事 2 工事場所は、半田市大池町三丁目1番地 3 請負契約金額は、215,600千円 4 請負契約者は、株式会社植田組 5 契約方法は、制限付き一般競争入札 <p>本工事は、乙川中学校改築事業のうち、外構及び運動場を整備するもので、完了は令和6年3月を予定している。</p> <p>(教育長) ただいまの説明について、意見や質問等はあるか。</p> <p>(委員)</p>

	<p>異議なし</p> <p>(教育長)</p> <p>では、提案のとおりに進めてください。</p>
<p>3) 半田市成岩地区総合型地域スポーツクラブハウスに係る指定管理者候補の選定について</p>	<p>7月28日に開催されました半田市指定管理者選定委員会において、指定管理者候補が決定されたので報告する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 施設の名称は、半田市成岩地区総合型地域スポーツクラブハウス 2 選定方法は、任意指定方式 3 指定管理者候補は、法人名、特定非営利活動法人 ソシオ成岩スポーツクラブ、代表者、理事長 林 義久、所在地、半田市昭和町三丁目8番地 クラブハウス 4 評価結果は100点満点中、75.51点 5 指定期間は、令和6年4月1日から令和9年3月31日までの3年間 <p>この後、地方自治法に基づき半田市議会9月定例会に議案を上程し、議決をいただいたら、その後の諸手続きを実施し、令和6年4月の開始に向け準備を進める。</p> <p>(新美委員)</p> <p>選定方法について確認したい。</p> <p>今回、任意指定方式ということだが、ふれあいプールや武道館などは公募方式で選定している。この違いを説明いただきたいのと、それぞれどういった事案でその方式となるのか教えてください。</p> <p>(スポーツ課長)</p> <p>選定方法については、今回の任意指定方式と公募方式がある。任意指定方式は、当該施設を指定管理として委託する場合に、様々な要因、例えば事業者が特別な運営方式で実施可能であったり、非常に期待できる経営方針であったりということによって任せたという市の意思に基づいて、任意で選ぶ方式である。</p> <p>公募方式は、広く多くの方に応募いただき、その中から最も適した業者を選ぶ方式である。</p> <p>半田市は、成岩地区総合型地域スポーツクラブハウスの運営委託に関しては、この現法人が最も適していると判断して、任意指定方式とするものである。</p> <p>(新美委員)</p> <p>つまり、半田市として、成岩地区総合型地域スポーツクラブの指定管理は、現法人が適しているという意味を持っているということか。</p> <p>(スポーツ課長)</p> <p>お見込みの通り。</p>

	<p>(久米委員) 前回も同じような任意指定方式だったか。</p> <p>(スポーツ課長) 前回、3年前も同様の方式で指定している。 参考までに、任意指定方式で指定しているのは、アイプラザ半田、クラシティの駐車場部分である。スポーツ課が所管する武道館やふれあいプールに関しては、公募型で募集して指定している。</p> <p>(教育長) では、提案のとおりに進めてください。</p>
<p>4) 新学校給食センター備品購入の契約締結について</p>	<p>半田市議会9月定例会に上程する、新学校給食センター用の備品購入契約に係る3つの議案について説明する。</p> <p>学校給食センターの建設に伴い、給食センター及び学校で使用する給食用備品を調達し、令和6年2学期からの新学校給食センター供用開始に備え、納品、設置させるものである。</p> <p>市内業者の受注機会の確保の観点から、食器の購入や、厨房備品の購入など、備品の用途により、7つの事業に分割し、それぞれの納入業者と契約をする。</p> <p>納入業者については、既に入札を行い決定しているが、そのうち「学校給食用 食器の購入」「学校給食用 食缶等の購入」「新学校給食センター用 移動台等の購入」、この3つの事業については、予定価格が2千万円を超えているため、契約を締結するには議会の議決に付すことが必要となり、このたびの定例会に議案として上程するものである。</p> <p>(教育長) ただいまの説明について、意見や質問等はあるか。</p> <p>(委員) 異議なし</p> <p>(教育長) では、提案のとおりに進めてください。</p>
<p>■ 報告事項 1) 「半田市の幸せになるための教育」に係る学校公開について</p>	<p>(主任指導主事) 各校の学校公開日及び内容の一覧のように実施される。委員の皆さんもお時間が許せば参観していただければ幸いである。</p> <p>(桂委員)</p>

今回の学校公開の中には、幸せになるための教育ということで新しく実施すること、従来の取組に合わせて実施することがあると思うが、従来の授業に合わせた場合にも、幸せというテーマに繋がっているのか。

(主任指導主事)

委員がおっしゃる通り、従来の取組に、幸せになるためというキーワードを元に、授業に色をつけて実施する学校もある。

(久米委員)

例えば乙川中学校や亀崎中学校は、数日間ずっと授業公開ということだが、この期間の授業すべてが幸せになるための教育というテーマを持っているのか。

(主任指導主事)

すべての授業が幸せというテーマに関連するかは、各学校に任せているのでお答えしかねるが、この期間の授業公開においては、幸せになるための教育に関わる授業をすと設定している。

乙川中、亀崎中については、できるだけ多くの人に参加していただきたいということで、期間も長くとっていると聞いている。

(桂委員)

保護者に対して、幸せになるための教育が半田市で今年から行われていると PR できるいい機会だと思う。

これまでの資料などを見返したところ、保護者には幸せになるための教育について、きちんとお伝えする場があったのか読み取れなかったが、これまで保護者にはどのように周知してきたのか。

(主任指導主事)

各学校には、例えば年度始めの PTA 総会の場で話すこと、学校教育目標に位置づけているので、それを説明する際にはしっかりと PR したりすることで、保護者に周知するよう伝えている。

また、強化週間の名称については、広く子どもたちから募集をして、最終的に子どもたちによる投票という形で決定しており、9 月には決定した旨を子どもへのタブレット配信もしくは紙での通知を予定しているので、そういったところでも保護者に目にしていただけると考える。

(桂委員)

名称募集は、子どもが自分たちのタブレットを使って投票していて、親まで伝わっていない気がする。

私はいろいろ話を聞いているので幸せになるための教育をやっていることはすごくわかっているが、他の保護者にどこまで伝わっているのか分からない。子どもたちは認知してきて

いるとは思いますが、保護者も触れる機会がたくさんあると、少しずつ認知が広がり、深まってくと思う。この機会が、最初の広く知ってもらおう機会になってほしい。

(主任指導主事)

ありがとうございます。今おっしゃる通り、広く周知できるといいと思っている。

(教育長)

改めて、各学校から保護者に対してこの期間に幸せ教育をPRするよう働きかけたい。

(堀崎委員)

半田市PTA連絡協議会が10月1日に研修会を実施するようだが、知っているようだったら内容を教えていただきたい。

(主任指導主事)

PTA主催で、保護者向けに、子どもの理解をテーマとして、学校教育課の指導主事やスクールソーシャルワーカー、コミュニティソーシャルワーカーが子どもたちのためにこんな取り組みをしていると紹介する。また、市全体で子どもたちを支援していく、育てていこうという機運があることを知ってもらおう機会と捉えて開催するよう。

場所は、雁宿ホールで開催される。

(指導主事)

その方たちがシンポジウム方式で取り組みを紹介するとともに、参加者にもワークとして一緒に考えてもらう。市にいろいろな相談の窓口があることや、情報提供していること、おもしろい取組をしていることなどを来た方に知ってもらえる会にしたいよう。

(新美委員)

せっかくの機会なので、PTA役員の方々だけが参加するような形でないといい。何か困っていたり悩んでいたりするような、本来聞いてほしい人に来てもらうことは難しいとは思いますが、そうでなくてもいろいろな人に聞いてほしいことだと思うので、より多くの人に参加できる会になるといい。

(新美委員)

雁宿小学校と有脇小学校の内容について、それぞれかりやど祭りとかいどりの日が幸せになるための教育に関する学校公開とされているが、これまでも実施してきているこれらの行事のときに、今回の趣旨のことができるのかなという単純な疑問が生じた。今回の趣旨と違うのではないか。学校として、趣旨をきちんと理解した上で、こういったねらいがあるからこの内容でやるということであればいいのだが、そこまで読み解けないので、学校から何か聞いていれば教えてほしい。

	<p>(主任指導主事) これは、学校へ調査をかけて、校長決裁のもと学校の意見として報告されているものであり、きちんと趣旨に基づいて、この行事が計画されていると考える。取り組み方については、学校に一任するという趣旨でやっているのです、そのあたりも十分考えて計画をされているものだと理解している。</p> <p>(正村委員) 我々が参加しようとした場合は、学校に連絡した方がいいのか。当日に都合がつけば連絡なしで行って、他の保護者と同じように見学してもいいのか。</p> <p>(主任指導主事) 広く学校公開という趣旨で実施するものであり、特に事前に参加の有無を確認することはない。当日に学校へ行って職員室に一言声をかけていただければいい。ただ、特に学校の先生が各教室を案内いただくことはないと思う。</p> <p>(堀崎委員) 不審者対策として、首に名札をかけてもらうことはあるかもしれない。</p> <p>(教育長) この週間に向けては、様々なPRをしていかなければいけないと思うので、各学校が盛り上がるように働きかけをしていきたい。みなさんも、ぜひ顔を出していただけるとありがたい。</p>
2) 寄附・後援願等について	<p>(学校教育課長) ・2団体より寄附。 (内訳：スギ薬局オリジナル救急箱、学校図書) ・23件の後援名義を許可。</p>
3) 児童生徒(園児)の交通事故・問題行動等について(非公開)	<p>(指導主事) 令和5年7月22日～8月10日の交通事故・問題行動等について。 交通事故：0件 問題行動(被害)等：0件 交通事故以外の事故：1件 8月2日(水) 1件 学校等被害：2件 7月26日(水) 1件 7月28日(金) 1件 不審者情報：0件</p>
4) 各種事業について	<p>(生涯学習課長) 「羊毛フェルトでござつね」について説明する。</p>

<p>①まちなかでアート</p>	<p>「みんなの南吉展」がクラシティで9月下旬から始まるため、コラボイベントとして「まちなかでアート事業」を開催する。</p> <p>3部制で開催し、午前は高校生以上、午後は小学5年生から中学生までとする。</p> <p>講師の三林先生は、商工会議所で定期的に羊毛教室を開催しており、生涯学習課職員2名が教室に参加して試作してきた。完成作品を見たが、羊毛フェルトのクオリティが高く、これが無料でできるのはかなりお得だと感じる。</p> <p>続いて「集まれ！半田まちなかパステル画講座」について説明する。</p> <p>半田赤レンガ建物および半六庭園の屋外を会場に小学生向けのデッサン会を開催する。使用する画材をクレパスとして、講師から参加者に画材を貸し出ししてデッサンする。市内の絵画教室「だれでもアーティストクラブ」の講師を招き、参加者は講師からアドバイス等がもらえる。そして、最後に参加者同士で作品発表会をしてもらう。こちらも無料となっている。</p> <p>最後に「レッツ・スケッチ・ヒガンバナ！～半田の秋を楽しもう～」について説明する。</p> <p>ごんの秋まつりの開催中に、矢勝川沿いで真っ赤に咲き誇る彼岸花を写生する。</p> <p>対象は、3歳～小学生で、市内の絵画教室「アトリエカラフル」の講師を招き、完成した作品の講評会を行う。南吉記念館にも協力いただき、参加賞として缶バッチと新美南吉記念館入館券を贈呈する。こちらも無料となる。</p> <p>なお、このイベントは、半田中学校の生徒が企画したものである。昨年度、半田中学校2年生を対象に行ったキャリア学習会で、生涯学習課が講師として参加し、新たな文化イベントの創出をテーマに生徒からアイデアを募り、5グループのプレゼンの中から採用した。生徒からは「ごんぎつねの舞台になった矢勝川沿いのヒガンバナの魅力を知ってほしい」という思いで企画したとのことだった。また、イベントの採用に伴い、生涯学習課が半田中学校で生徒たちに表彰状を手渡し、その様子を中日新聞とCACに取材に来ていただき、記事にもしていただいた。生徒たちからの提案をもとにイベントを具現化することは初めてであり、内容を練り上げる中でいろいろ苦労はあったが、ようやく実現できる。当日は企画した生徒たちがボランティアで参加してくれるので、よろしければ現場へ来て労っていただくと幸いである。</p>
<p>9) 各種事業について ②ロビーコンサート (半田市医師会健康管理センター神田町)</p>	<p>(生涯学習課長)</p> <p>半田市医師会と共催で行うロビーコンサートである。市公式LINEを通じて生涯学習課がロビコンを開催していることを知って、医師会でもやってほしいとお声をかけてくださり実現する。昨年度、新たに健康管理センターの検診棟が完成し、その1階ロビーにグランドピアノが置かれている。検診受診者の方を始め、職員、地域の方へ音楽文化を届け、心と体の健康に活用したい、とのことである。今後も定期的にロビコンを開催したいとおっしゃっていた。当日は二人のピアニストによるソロと連弾でロビーを沸かせる。実際にロビーを見学したが、エントランスからロビーを臨むと広々とした空間が広がり、ちょうどピアノの上が吹き抜けになっており、音色が広がりやすい造りで非常に素敵だった。新しい検診棟に入る機会でもあるので、ぜひお越しください。</p>

<p>9) 各種事業について ③和太鼓×マリンバ GONNA LIVE2023</p>	<p>(生涯学習課長)</p> <p>音楽のあるまちづくり事業の1つである。普段触れる機会の少ないマリンバと和太鼓の生演奏を鑑賞することを通して、音楽に興味関心を持っていただくことを目的に開催する。また、鑑賞するだけでなく、開演前に和太鼓の演奏を学ぶワークショップを定員30名で実施し、参加者は公演中の1曲を舞台上で一緒に演奏する。プロと演奏できる貴重な機会を提供すると共に、幅広い年代が楽しめるコンサートとなり、体験することによって音楽を身近に感じていただければ、と考えている。</p>
<p>9) 各種事業について ④Sound Spice vol.3</p>	<p>(生涯学習課長)</p> <p>昨年度も10月にvol.1として雁宿ホールで開催したイベントを今年も開催する。愛知県出身アーティストによる地元を盛り上げるSound Fesである。</p> <p>昨年度は1,300席が完売し、県外からもファンが詰めかけ、非常に盛り上がった。昨年度はコロナ禍であったが、来場者はきちんとマスクをし、大声も出さず、自分の席において拍手で盛り上げており、非常にマナーのよいお客様ばかりだった。この様子に出演者が感動して、また雁宿ホールでやりたいと言ってくださり、今回の運びとなった。市の周知はこれからですが、既に雁宿ホールに問い合わせが来ており、おそらく完売となると思う。</p> <p>(桂委員)</p> <p>どの事業もワクワクするような内容。市民の方や中学生を巻き込んで事業を企画している点がとてもいい。今後も魅力的なイベントを開催してほしい。</p>
<p>9) 各種事業について ⑤旧中埜家住宅 & 半田市立博物館 2館共同企画</p>	<p>(博物館長)</p> <p>今年度も、旧中埜家住宅の美しい外観を活かした企画を行う。博物館にて開催予定の館蔵品展「歴史と伝統 半田の山車祭り」とコラボレーションした2館共同企画として、半田の山車まつりをイメージさせる龍や唐獅子、虎などの生きものが伝えるキーワードを回答するクイズを考えている。期間は、9月30日(土)から10月31日(火)までで、博物館受付にて回答いただいた方には、ささやかなプレゼントをお渡しする予定である。</p> <p>子どもたちに、楽しみながら半田の文化財に親しんでいただきたいと思います。</p>
<p>9) 各種事業について ⑥館蔵品展「歴史と伝統 半田の山車祭り」</p>	<p>(博物館長)</p> <p>9月23日(土)から11月5日(日)まで、館蔵品展「歴史と伝統 半田の山車祭り」を開催する。</p> <p>1階展示コーナーでは、「第9回 はんた山車まつり」の開催に合わせて、歴代はんた山車まつりの写真や公式法被を展示する。また、2階特別展示室では、市指定文化財である「乙川八幡社祭礼絵図」などの貴重な資料を展示するほか、博物館で収蔵している祭礼文書や各組の法被、初代・二代彫常の彫刻作品等を展示する。</p>

<p>9) 各種事業について ⑦半田市文化財専門員による研究発表「文化財よもやま話」</p>	<p>(博物館長) 郷土の歴史や文化財について、文化財専門委員の先生がテーマを決めて研究発表を行うもので、今年は全6回の講座を10月7日(土)、8日(日)、14日(土)の3日間、午後1時半からと午後4時からの二部制で行う。会場をコロナ禍前に戻して視聴覚室で行うので、各回の定員も昨年の24名から50名に増やして行う。各文化財専門委員の先生の発表日時やテーマはチラシに掲載しているとおりである。</p>
<p>9) 各種事業について ⑧博物館講座「和本を作ろう」</p>	<p>(博物館長) 9月30日(土)午後1時30分より、博物館講座「和本を作ろう」を開催する。講座は、参加費として材料費200円をいただき、和本の形をしたメモ帳を作りながら、和本の歴史や構造を学んでもらう内容となっている。</p>
<p>各課事務連絡</p>	<p>(新美南吉記念館長) テレビ放送のお知らせをする。 9月10日(日)、東海テレビ「銅像スター調査隊」で新美南吉が取り上げられる。各地に建つ銅像をとりあげ、この人はいったい何をした人だろうという疑問について調べる番組である。 特番だが、人気のある企画でもう9回目ぐらいの放送とのことである。 安城市にある南吉と女学生の像を訪ね、南吉が安城で女学校の先生だったことを紹介、さらに詳しいことをふるさとの半田市で調べようという流れで、新美南吉記念館が取材を受けた。 9月10日放送で、時間はまだ決まっていないが、よろしかったらご覧ください。</p>
<p>教育委員からの意見提言等 (1)</p>	<p>(久米委員) 意見ではないが、知り合いの会社の従業員のお子さんが市内の小学校に通われていて、その従業員の方がいろいろ悩みを抱えていたそうだが、教育委員会の方が手厚く、親身になって対応してくれたと感謝していたそう。ぜひお礼を伝えておいてほしいと言われたので、この場を借りて報告させていただいた。相談内容や名前は承知していない。 (教育長) 大変ありがたい話。今後もそう言っていただけるよう努める。</p>
<p>教育委員からの意見提言等 (2)</p>	<p>(新美委員) 今、中学校の部活動改革がいろいろと進められていると思うが、検討部会という会が行われ、令和6年9月に土日の部活動を実施しなくなったあとの半田祭の運営について、引き続き中学校の先生にお願いしようという方針があると聞いた。 大会のときだけ依頼するという趣旨だと思うが、先生方は平日の指導のみとしていくことで進めている中で、大会だからと言って今からもう先生方に運営をお願いするということ</p>

は、改革の趣旨に逆行しているのではないか。せっかく先生たちを外してやろうとしているのに、そこを依頼していくとそれが当たり前になってしまわないだろうか。知多半島の中では、半田市だけが土日の部活動を廃止して地域の団体で受け皿を整えようとしており、他の 9 市町は土日も部活動のまま基本的には行われていくよさだという話もその会の中であったよさだが、こうして半田市は国の方針に沿って改革しようと考えている中で、そちらの考え方に流されてしまうことを懸念している。

大会の参加資格についても、この会議で議論があったよさ。各市町が主催するよさな大会の中で、学校の部活動以外は出場できないと規定している大会もあるよさで、他の市町は部活動として出場する中、半田市だけはスポーツクラブのため大会に出られないことにならないだろうか懸念する人たちもある。この点については、教育長から知多半島の市町に話をしてもらうことがいいのか、どの場で協議するよさのかかわからないが、半田市の子どもたちが他市町の部活動の子たちと同じよさように大会に出られるよさ調整していただきたい。

(スポーツ課長)

この検討部会というの、半田市のスポーツ協会の中で、中学校の大会の部を開催している競技団体にご参加をいただいた検討部会である。スポーツ協会が関係する大会が、半田市民スポーツ大会と、今言われた半田祭、正式には半田市スポーツ大会というものがある。

いずれも中学校の部の大会運営に関しては、これまで中学校の先生方が大会運営に携わっていただき大会を開催している中で、一部の競技団体においては、中学校の部の大会運営に携わっていなかった。来年の 9 月以降に半田市では中学校の部活動が土日は廃止となり、生徒が土日はスポーツクラブで活動するよさなときに、学校の先生方がその 2 つの大会運営から抜けてしまわれると、思いうよさように大会を開催ができなくなってしまうよさという心配が大きい。検討部会の中では、今の部活動改革の推進期間である令和 5 年度から 7 年度までの間に、大会運営の引き継ぎも含めて、これまでの経験等を先生方にご教示いただく期間としたいという趣旨で、スポーツ協会から教育委員会へ要望を出していきこうという流れになっている。

半田市の中学生、あるいは 4 市 5 町の中学生が、半田祭などの大会で活躍を披露する場がなくなってしまうよさなので、何とかそれを途切れないようにするために、その引き継ぎ期間として令和 6 年 9 月以降も約 1 年半の間、協力いただきたいよさな意味合いである。

ただし、そのお願いをする令和 7 年度までの期間であっても、先生方は断っていただくよさなこともできる。

(新美委員)

その 1 年半の間に、半田祭や半田市民スポーツ大会が 2 回行われるよさと思うが、その 2 回の大会は引き継ぎ期間として、先生方と各種団体に携わる方々と一緒に運営しつつ、移行していくよさなということか。

	<p>(スポーツ課長)</p> <p>そのとおりである。ただ、競技種目によっては、なかなか移行が難しいと考えている種目もあるが、スポーツ協会としては中学生の大会をなくしたくないという思いが強いので、引き継ぎがうまくできている団体もそうでない団体も、移行期間の 7 年度までは先生方にご助言ご指導等を頂戴したいという方向で検討している。</p> <p>(新美委員)</p> <p>理解できました。</p>
<p>教育委員からの 意見提言等 (3)</p>	<p>(堀崎委員)</p> <p>令和 6 年教員採用の合格発表があったが、小学校教員の倍率の低さに愕然とした。まだ二次で受験する人もいるので最終的な倍率はどうなるかわからないが、教員の仕事はブラックであるとか、部活動の指導が大変とか、悪いイメージだけが先行して敬遠されやすくなっていると思う。知多全体、あるいは愛知県全体でそういったイメージを払拭していかないと、倍率は上がらないだろうと感じる。</p> <p>先ほどの話にあったように、半田市が土日の部活動は廃止にすることなど、働くなら半田市とアピールになってくることもあると思うので、ぜひ頑張ってください。</p> <p>(教育長)</p> <p>倍率については、なかなか僕らができることではないかもしれないが、教員の働き方改革に取り組んでいることなど、いろいろな面で、今委員が言われたようにブラックじゃないよということは知ってもらいたい。</p>
<p>次回開催等</p>	<p>(事務局)</p> <p>9月定例教育委員会 日時：9月20日(水) 10時00分～ 場所：半田市役所 4階 403会議室</p> <p>(教育長)</p> <p>8月定例教育委員会を終了する。</p>

〈 閉会 11時10分 〉